

シンフォニアテクノロジー 2023 年度決算説明会 質疑応答(要旨)  
(2023 年 5 月 30 日(火))

【回答者】

代表取締役社長 平野新一

Q 様々な製品群の中で、コアコンピタンスは何か？

また、どのようなコアテクノロジーが使われているか？

A 電磁力の応用が当社のキーテクノロジーである。

また、システム制御の技術が半導体、脱炭素関連の分野につながっている。

Q 長期目標は何年後を達成時期と見ているか？

また、実現に向けてどこに力を入れていくのか？

A 10 年後を目標にしている。

半導体関連分野が現状 30%程度であるところを 40%にする。

今まで取り組んでいなかった、製品・製造工程の周辺分野を取り込んで増やしていく。

そのほか、自動化で当社の得意な技術を活かした製品を派生させていく。

Q 今中期計画の数値目標は達成できたようだが、残されている課題はあるのか？

A 技術開発力の強化と、チャレンジする土壌の醸成がまだ道半ばであると認識している。

Q 半導体関連の顧客の国籍別の比率は？

キャパシティにおいて、現地化を進めるのか？国内生産で十分か？

A 日本とアメリカがほぼ8割を占めており、残りは中国、ヨーロッパである。

生産については、タイで標準的な製品、アメリカでは開発とサービス、

日本では高付加価値の製品を生産する体制にしていく。

また、台湾に関しては今後のことは検討中である。

Q クリーン搬送は利益を取れているが、他セグメントの利益率は低い。

利益確保の課題はどこにあると考えているか？

A どちらかというレガシーな製品が多く、競争が激しい分野である。いかに差別化して付加価値の高いものを作るかがポイントとなる。

現状の利益率に満足はしておらず、取捨選択して競争力の高いものに絞っていく。

Q 代理店取引はどの程度あるか？

A 半導体関連を除いて、50%程度は代理店経由である。

以上